

那覇西V男子は興南

ハンドボール

高校選手権

ハンドボールの第54回県高校選手権最終日は22日、

東風平体育館で男女決勝までを行い、女子是那覇西が浦添を25-22で破って2年連続9度目の頂点をつかみ、男子は興南が粘るコサ

を28-25で制して13年連続35回目の優勝を果した。女子那覇西は後半、17-17から6連続得点で突き放し、男子興南は序盤で10-0とリードすると、コサの猛攻に苦しめられながらも逃げ切った。

興南	34	21	知	念
コサ	36	19	那	覇
▽決勝	興南	28	25	コサ
▽準決勝	那覇西	31	12	南風原
浦添	42	12	那覇	国
▽決勝	那覇西	25	22	浦添
▽準決勝	那覇西	13	12	浦添
浦添	12	10	22	浦添

女子那覇西

女子那覇西は17-17の後半15分から6連続得点し、浦添を突き放して勝利した。

1、2年だけの新チームになって最初の大会はゲームの流れが激しく行き来した。浦添のGK仲間鈴に好セーブを連発されると、逆速攻やミスから3-17とリードされた。ここからサイド攻撃や早いパス回しでゴールを奪い、12-10で折り返した。

波に乗ったと思えば5連続失点で追いつかれたが、島袋心花は「オフの日にも自主練した。積み重ねたことを信じていた」と焦りはなかった。左サイドから中央に切り込み、パスをもらって勝ち越しの18点目。「ここで決めて突き放そうと思って」と喜んだ。

金城菜々子、上間結愛らもシュートを決めて流れをつかんだ。声掛けで1年を引っ張った主将の久場川かりんは「波が激しかった試合を今後は落ち着かせたい。堅守速攻をもっと徹底したい」と成長を誓った。(又吉健次)



那覇西―浦添 後半 那覇西の島袋心花が25点目のシュートを決める＝東風平体育館(崎浜秀也撮影)

練習で自信 6連続得点

辛勝 猛反撃に苦戦

男子興南

興南は前半12分までに10-0とコサを圧倒したが、後半は17失点の猛反撃に苦しみ、辛くも3点差で逃げ切った。

ロングシュートが武器の相手エースを封じる高い守備ラインが機能し、ボール

を奪っては次々と速攻を決めた。5得点の平田理雄は「チームの持ち味は堅守からの速攻。GKの中村謙の好セーブもムードを盛り上げた」と振り返った。

19-8で迎えたハーフタイムでは点差を忘れて戦おうと確認した。だが攻守のミスから点差を縮められると、焦りから失点が続く悪循環。それでも4点差に追



興南―コサ 前半、興南の島袋道人が12点目のシュートを決める

られたところで、主将の瑞慶山充貴らがゴールを決めて底力を示した。瑞慶山は「ミスが多くて悔いが残った、平田も「県内では敵なしにならない」と反省ばかりだった。